

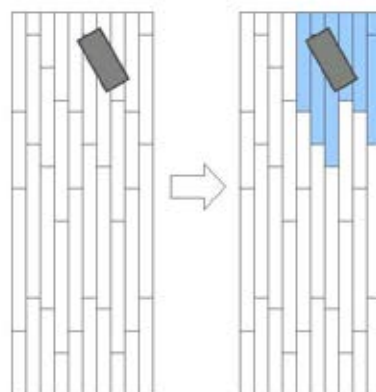
〔作業時の服装〕

- 髪の毛や体毛等が落ちたりしないように帽子・頭巾をし、長袖・長ズボン（裾が締まるもの・ホコリや毛クズが発生しにくい作業着等）を着用する。
- 作業中は汗が垂れないように汗止めをする。

〔作業での留意点〕

- 工期は余裕を見て組み、荷物の搬入等で無理な施工が生じないように留意する。
- 部屋内の家具類は出来る限り移動し、床面を一気に塗布できる環境を整える。
- 塗り継ぎを必要とする場合には、フローリングの目地で縁を切るようにする（図1）。

図1 部分的に塗布する場合



- 一度に広い面積に塗布するのではなく、小面積ずつ塗り継ぎを均(なら)しながら板目に沿って塗布していく。
- 厚塗りは割れやムラの原因になるので、必ず、所要量を守り、限りなく薄く塗り延ばす。

- 壁際では薬剤が溜まり厚塗りになりやすいので、メラミンスポンジを利用して薄く塗布する（図2）。

図2 壁際の塗布



- 塗布用マイクロファイバーモップ（図3）等で塗る場合、十分に塗剤を含浸させた上で、塗剤が垂れないように十分に液を切り、限りなく薄く塗布する。

図3 塗布

